

札幌市子ども・子育て会議における傍聴者意見の概要

参考資料3

意見区分	意見の内容
障がい児への配慮に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○施策の実施に当たっては、障がい者・児の意見も聞いてほしい。 ○障がいのある子どもと家庭の支援体制をもっと整えてほしい(共生社会の実現という観点からの意見も含む)。 ○障害者権利条約の理念を尊重してほしい。 ○特別支援教育について、教員の障がいに対する理解を深めるために、研修などによる勉強会の開催を求めます。
保育教諭の資格取得や児童クラブ指導員の処遇改善に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○保育教諭の資格取得について、業務時間外に研修するのは負担が大きいのので、OJTや事業所の交換研修を通してみなしで認めるべき。 ○保育教諭の資格取得に当たっては補助を行うべき。 ○放課後児童クラブの指導員の資格・処遇についても改善が必要である。
その他札幌市の子ども施策に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育の質の向上については、ぜひ実現してほしい。 ○子育て相談窓口の質を向上してほしい。 ○放課後児童クラブの基本のあり方を含めて議論してほしい。 ○常設子育てサロンに一時預かりができるよう札幌市からの支援があると良い。 ○環境整備には地域で活動している民の力を導入すべき。 ○虐待・貧困・子育て力の低下など家庭・家族だけでは解決できない問題であるという大きな視点が共有されていない。 ○児童虐待については、窓口が分散化されることで逆に問題が表出しづらくなった側面があるのではないか。 ○いじめや不登校児童への対応について、心のサポーターやスクールソーシャルワーカーの数が少なくて学校側が問題を把握できていない。 ○第1子の子育て中の親の支援強化を進めるともっと子どもを持つ家庭が増えると思う。 ○現場の声や子育てしている親の声をぜひ反映させてほしい。 ○制度の市民への周知が重要でありしっかり行ってほしい。 ○パブリックコメントの市民への告知は広く実施してほしい。

※第1回・第2回子ども・子育て会議に係る傍聴者意見を整理

※既に作成済みのニーズ調査票に関する意見は除く